



～河川愛護月間にあわせて～

「千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール」 平成21年度 入賞作品展示会を開催します

千曲川・犀川は、流域に暮らす人々の生活と密接に結びつき、豊かな恵みを与え、産業や文化とも深く関わってきました。こういった河川の持つ魅力や自然の変化を、絵画を描くことによって感じながら、自然環境、美しい景観、河川事業、災害等について考える機会としてもらうことを目的に、毎年「千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール」を実施しており、昨年度で25周年を迎えました。

今回、7月の河川愛護月間にあわせて、長野市役所において下記の日程で平成21年度入賞作品の展示会を開催します。

児童、生徒さんの力作を、多くの方々にご鑑賞していただけるよう、お知らせいただければ幸いです。

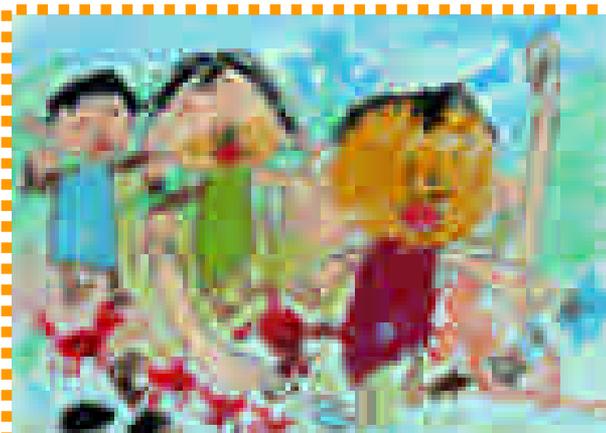
○開催期間

平成22年7月20日(火)～7月30日(金)

○開催場所

長野市大字鶴賀緑町1613番地

長野市役所内 第一庁舎2階 広報スペース



【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局

千曲川河川事務所 026(227)7611

建設専門官 清水 俊美

平成21年11月に実施された審査会の模様



平成21年度「千曲川・犀川ふれあい絵画コンクール」入賞者を発表します

千曲川・犀川は、流域に暮らす人々の生活と密接に結びつき、豊かな恵みを与え、産業や文化とも深く関わってきました。

こういった河川を持つ魅力や自然の変化を、絵画を描くことによって感じながら、自然環境、美しい景観、河川事業、災害などについて考える機会としてもらうことを目的に、この千曲川・犀川ふれあい絵画コンクールは開催されており、今年で25周年を迎えました。

今年も「川と私たち」というテーマに、小学校、中学校あわせて237点の作品をお寄せいただきましたが、川と遊んだ体験・感動をテーマにする形にこだわらない低学年生の作品、見える形を大切に始めた高学年生の作品、そして一段と観察力の増した中学生の作品など、学年ごとに視点の変化や工夫の跡がみられる、印象的な作品ばかりでした。



11月中旬に、長野県美術教育研究会の西澤 剛先生(長野市立川中島中学校教頭)により審査会を行い、各部門別で合計38点の入選作品を選定しました